

令和6年度（2024）

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園

専門学校穴吹ビューティカレッジ

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園 専門学校穴吹ビューティカレッジ 学校関係者評価委員会は、令和5年度学校自己評価に基づく学校関係者評価を実施致しましたので、報告致します。

令和6年10月30日

学校法人穴吹学園
専門学校穴吹ビューティカレッジ
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価の目的

より実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換等を通じて、専門学校穴吹ビューティカレッジの自己評価の結果を評価することを目的とした委員会を置く。

委員会は、専門学校穴吹ビューティカレッジが行った教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえた本校の評価を行い、その結果を校長に報告する。

2. 学校関係者評価委員会

(委員)

| | | |
|--------|---------------------------|-------|
| 野村 慎二 | 日本ヘアカラー協会 執行部 理事/株式会社のむら | 代表取締役 |
| 河端 公美子 | 一般財団法人国際美容協会 山野流着装 準皆伝講師 | |
| 高畑 育代 | 有限会社カールズジャパン 専務取締役 | |
| 小野 和則 | 株式会社セレクトビューティ 執行役員 (欠席) | |
| 中村 博子 | 株式会社麴町リバーズ 副院長 | |
| 西村 恭 | 株式会社ニュー・オータニ 管理部管理課総務 支配人 | |
| 高重 宏一 | 香川県健康福祉部生活衛生課 課長 | |
| 森川 崇 | 元香川県立高等学校校長 | |
| 土居 真也 | 香川県立津田高等学校 校長 (欠席) | |
| 西本 泰三 | 英名高等学校 校長 (欠席) | |
| 西山 順子 | 穴吹ビューティカレッジ 保護者会支部長 | |
| 矢野 理菜 | 穴吹ビューティカレッジ 卒業生 (欠席) | |

(学校教職員)

| | | |
|--------|----------------------|--|
| 森川 和哉 | 穴吹ビューティカレッジ 校長 | |
| 加藤 猛 | 学校法人穴吹学園高松 統括副校長 | |
| 佐戸 三千代 | 穴吹教育総合研究所 所長 (欠席) | |
| 西尾 哲通 | 穴吹ビューティカレッジ 副校長 | |
| 南 敦子 | 穴吹ビューティカレッジ 教務部 部長 | |
| 大西 歩未 | 穴吹ビューティカレッジ 教務部 課長 | |
| 神内 朋子 | 穴吹ビューティカレッジ 教務部 課長代理 | |
| 今岡 智子 | 穴吹ビューティカレッジ 教務部 主任 | |
| 大栗 直樹 | 穴吹ビューティカレッジ 教務部 主任 | |

3. 学校関係者評価委員会実施日時

開催日時 令和6年10月30日(木) 14:00~15:00

開催場所 学校法人穴吹学園 穴吹ビューティカレッジ 4階 401・402 教室

4. 自己評価結果の説明・報告(自己評価報告書参照)

当校の「教育理念」「目的」及び「令和6年度の目標と計画」について説明し、各自己評価項目について「評価結果(総括)」「取組状況とその分析」及び「今後の改善方策等」について報告がなされた。

書式は香川県版一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会様式にて実施し、各評価項目については、「A」十分である・「B」おおむね十分である・「C」やや不十分である・「D」不十分であるの4段階にて評価している。

さらに「令和6年度事業報告」「令和6年度目標及び進捗状況報告」「令和5年度保護者アンケート結果報告」の内容について報告がなされた。

5. 意見交換、質疑応答

○地域の特性を活かした教育について、

・毎年の課題となっているが、達成は難しいのか

→現在取り組みを強化しており、次年度にはよい報告ができると思う。

○資格の取得については、今後も継続してほしい

○退学の増加について

・現場でも接客中にマスクを取らないなど、コミュニケーションが難しいスタッフが増えている

・若者は世代の違う人とのほうがコミュニケーションがとりやすい場合があるようだ

・いろいろな年齢層の方と接する取り組みをしてはどうか。

○SNSやホームページ等での発信について

・学校の様子がよくわかってよい

・保護者にも周知をしていくことで、学校への理解が進むのではないかと

○外部イベントでの参加も、学校の認知度を高めるのに役立つ。(その際の立ち居振る舞いが重要)

○コロナは第5類に移行したものの、その他感染症も含め衛生管理は今後も継続してほしい。

○保護者アンケートについては、回答率44%(昨年度100%)、満足度95%(昨年度84.5%)。

該当結果は令和4年度と大きな変化はなかったものの、回答率が44%と大きく低下した。回答方法をデジタル化したためと考えられるが、令和6年度は保護者にメールで直接依頼し、回答率を上げたい。

日頃からの当校の教育実践が良い結果につながっていることが、「報告書」や「保護者アンケート」に出ており、引き続き職業教育を通じて学生を指導していただきたいとのご意見、ご要望をいただいた。

本日は貴重なご意見を賜り誠にありがとうございました。これからも皆様のご期待に添えますよう、教職員一同、日々努力して参りますのでよろしくお願い申し上げます。

以上